

メンズ美容の 歴史をたどる

— 制度・美意識・化粧品 —

主催：港区立男女平等参画センターリーブラ図書資料室 協力：ポーラ文化研究所

2026年
7月11日(土)
午後3時～4時30分
(開場：午後2時45分～)



豊国《白木屋お駒》嘉永頃/1848-1854 (ポーラ文化研究所蔵)

リーブラ図書資料室では、男女平等参画・ジェンダー関連の図書資料を幅広く収集しています。今回、港区の専門図書館であるポーラ文化研究所の協力のもと「メンズ美容」についての歴史の講座を企画しました。リーブラや専門図書館、その関連図書とつながるきっかけとしていただければ幸いです。

近年、メンズ美容への関心はますます高まっており、メディアでも多く取り上げられるようになってきています。ジェンダーレスコスメといった、性別でターゲットを特定しない化粧品の登場など、メンズ美容をめぐる環境は大きく変化しつつあります。では、男性が化粧や美容を始めたのはいつから?どんな目的で?本講座では、博物館に残る考古遺物や美術品、文献などから、その歴史の流れを紐解きます。

講師：富澤洋子 (学芸員・司書)

東京都港区の化粧文化ギャラリーでは、Books企画担当。共著『明治・大正・昭和の化粧文化』、『平成美容開花 平成から令和へ、美容の軌跡30年』(いずれもポーラ文化研究所発行)。



申込：2026年6月17日(水)より、ホームページ・電話・リーブラ窓口にて申し込みできます。
申込締切：定員に達し次第、申し込み受付終了
会場：港区立男女平等参画センター学習室 A
対象：区内在住・在勤・在学者またはテーマに関心がある人
定員：40名
参加費：無料

※個人情報の取り扱いについて 提供いただいた個人情報は、お申し込みの講座の運営およびそれに関するご連絡以外の目的には使用しません。 また本人の同意なく第三者へ提供することはありません。



港区立男女平等参画センター

リーブラ

〒105-0023 港区芝浦1-16-1 みなとパーク芝浦

Tel:03-3456-4149

HP:https://www.minatolibra.jp/

